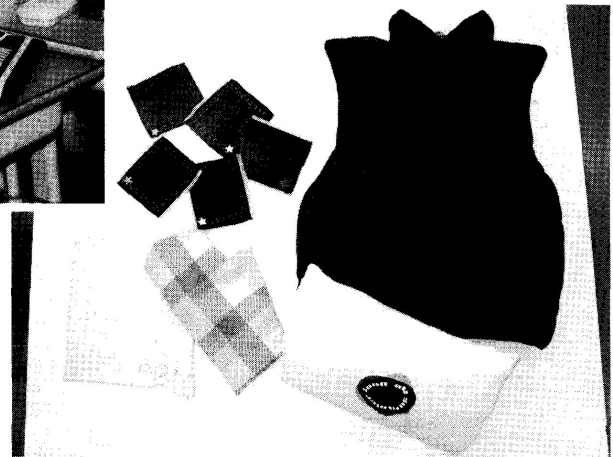
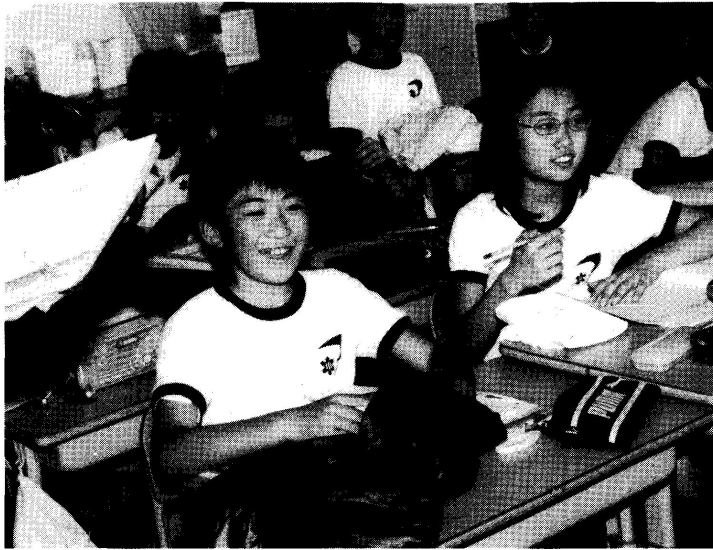


家庭科の研究

高橋 道子



🔑 キーワード

生活を支える人・もの・こと 選択・意志決定 生活環境

🎯 主張

子どもが、自らよりよい家庭生活を創っていくために、生活の仕方を選択・意志決定することを大切にしたい。そのために、子どもが感性を働かせ、家庭生活を支える人・もの・ことを多様に見出し、科学的なものの見方・考え方を働かせ、自分や家族の家庭生活を多面的に見つめ分析的、総合的に思考することに着目した。

衣服の材料である布が石油からも作られていることに目を向けたり、布の特長を実験で確かめ衣服の役割とつないだりしていく。そして、観察や実験から見出したことと自分や家族の生活の仕方を結びつけて製作する物を決定していく。その中で、家族や地域の人々、生活環境との調和を考えながら、よりよい家庭生活を創ろうとする子どもの姿を求めた。

I 家族や地域の人々と共に生活していこうと 自らよりよい家庭生活を創る家庭科

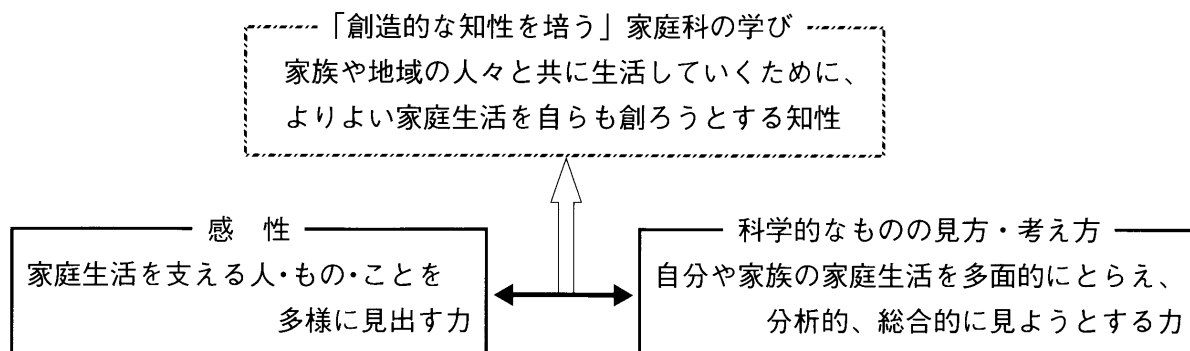
1. 「創造的な知性を培う」家庭科の学び

家庭科では、生活環境の変化に対応して家庭生活を営み、家族や地域の人々と共に生活していく姿を求めていく。家庭生活の成り立ちや生活環境とのつながりに目を向け、家族や地域の人々と共にくらししていきたいと願いを持ち、自分と家族の生活の仕方を工夫する姿である。

生活環境の変化に対応するには、自分と家族の生活を中心にしつつも、生活環境と家庭生活を支える人・もの・こととのつながりを認識することが大切である。家庭生活は自分や家族だけで、あるいは家庭生活の中だけでは成り立っていない。他の家庭生活、様々な産業、エネルギーや資源、金銭、情報の流通、それにかかわる人々と結びついている。

調査、観察、実験、実習を行い、自分と家族の生活とその家庭生活を支えている人・もの・ことの役割や働きに目を向けていく。そして、生活を支えている人・もの・こととのつながりをとらえ、自分と家族に合った生活の仕方を検討していく。家庭生活を支える人・もの・ことは、自分や家族を支えていて、社会や自然ともつながっているという新たな概念・認識を形成し、家族や地域の人々と共に生活していくために、よりよい家庭生活を創り出していくことを期待した。

2. 家庭科ではくくみたい「感性」「科学的なものの見方・考え方」

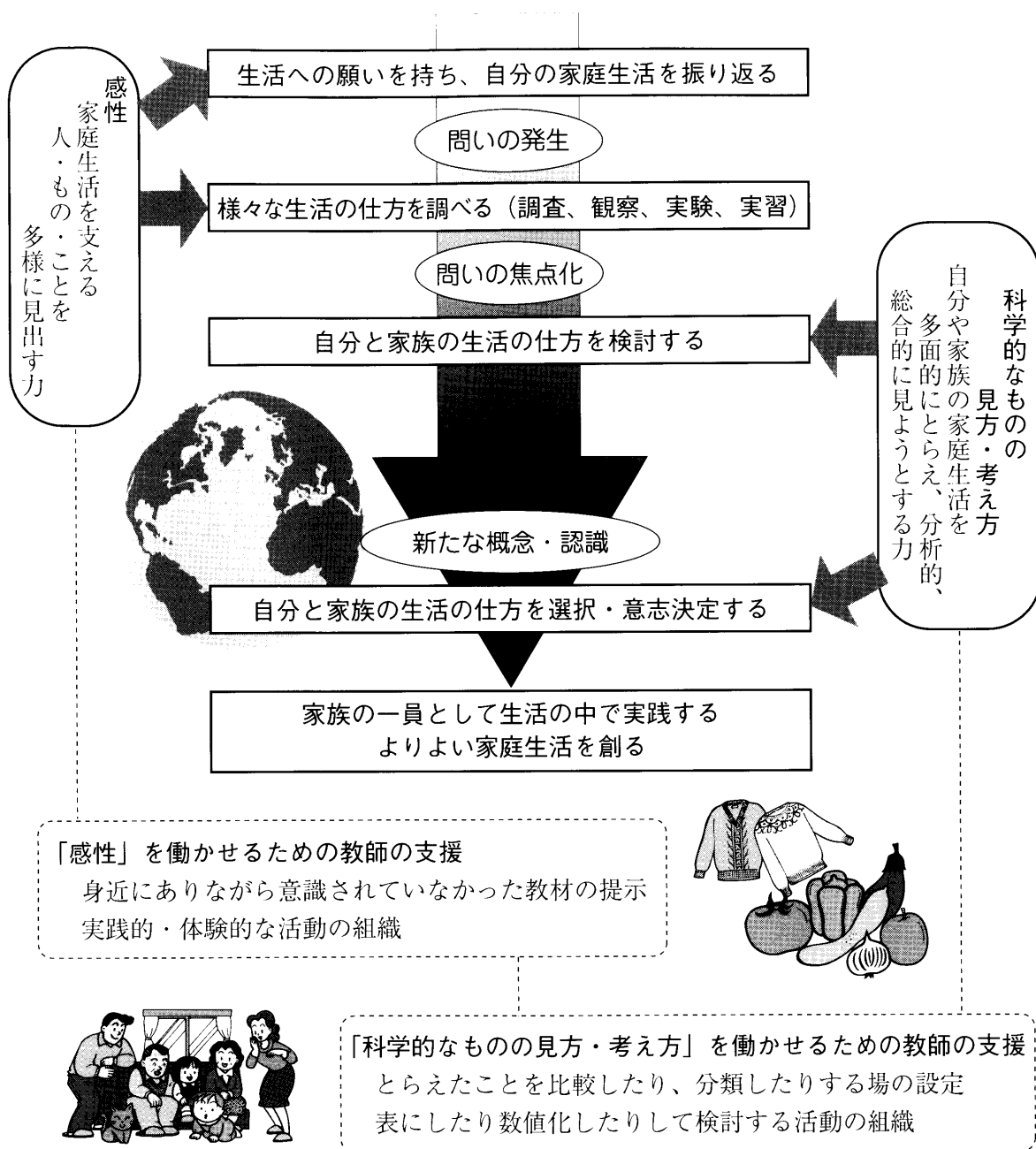


創造的な知性「家族や地域の人々と共に生活していくために、よりよい家庭生活を自らも創ろうとする知性」を培うため、感性「家庭生活を支える人・もの・ことを多様に見出す力」と、科学的なものの見方・考え方を「自分や家族の家庭生活を多面的にとらえ、分析的、総合的に見ようとする力」をバランスよく統合し働かせていくことを大切にする。

感性を働かせ、自分の生活が様々な支えられつながっていることが見出されると、家族や地域の人々と共に生活環境のことを考え家庭生活を創っていききたいという願いが子どもに生じる。そして、願いを具現するために、科学的なものの見方・考え方を働かせ、家庭生活を支えている事象や相互関係を多面的にとらえ、それぞれを比べ分析的に思考したり、結びつけて総合的に思考したりして、自分の生活の仕方を判断していく。

その過程では、生活環境と調和し、自分や家族、地域の人々それぞれにとって価値のある新たな概念・認識が形成されてくる。子どもたちは、その新たな概念・認識を元に、よりよい生活の仕方を選択、意志決定し、自ら工夫して家庭生活を創っていくのである。

3. 「創造的な知性を培う」家庭科の学習過程



4. カリキュラム編成の視点

- これからの家庭生活を創る上で、大切な視点になる内容(8)「近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活について環境に配慮した工夫ができるようにする。」を単元に合わせて具体的に、単元構想に位置づけていく。
- 現行の学習指導要領で家庭科が扱う内容を、広い視野に立ち発展的に学んでいけるように新設教科「自然科学科」のD区分「くらしと人の知恵」や、総合的な学習の時間「科学探究科」で扱っていく。

II 実践の概要

第5学年

「布をいつまでも使い続けよう～衣服から生活に役立つ物を製作しよう～」

1. 資源としての布を大切に使い続ける生活を創り出す学び

本単元では、自分が欲しい物、作りたい物を製作するのではなく、布の特長と自分や家族にとって作る物の役割や働きとを結びつけて、作る物を決め製作していく。不用になった衣服の布が使われないのは、限りある資源の無駄使いになるという新たな概念や認識を形成し、布の特長を生かし、用途を変えて繰り返し使い続け、自らよりよい生活を創り出そうとする姿を求めていきたいと考えたからである。

布は衣服や身近な製品の材料として様々な生活を支えている。子どもたちは感性を働かせ、自分の生活を振り返り、気候や活動に合わせて衣服や布が違うことに目を向けてくる。さらに、布と資源との関係を社会や自然とのつながりからとらえ、布の特長や布の生かし方、自分や家族の生活での役立て方などを、科学的なものの見方・考え方を働かせ検討し、何を製作するか明らかにしてくる。自分の生活を支えている布、資源として大切な布という布の価値を多様に見出して布を生かし、よりよい家庭生活を創ろうとする姿を願ったのである。

2. 単元の構想

(1) 単元の目標

日常生活で布を使ってきたことが、社会や環境、自分たちに、どのように役立っていてどのように影響していたのか、調査や実験によって明らかにしていく中で、布には様々な種類と使われ方があり、そのよさを生かすと、用途を変えて使い続けられることに気づき、自分や家族の生活に役立つ物を布を生かして製作し、使っていこうとすることができる。

(2) 追求の構想（10時間）

1次 衣服の布について調べよう

◎衣服の布は、どのように作られているのだろうか

布の生産方法

布の原材料

動物、植物、石油などの資源が使われている

布の生産と処理

ハイテクノロジーと

再利用の進まない資源

→布・衣料品

布を無駄にせず、もっと利用していきたい。

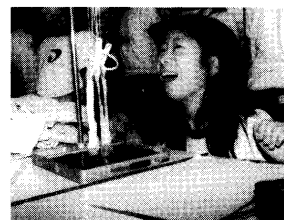


2次 布の利用について考えよう

家にもたくさん不用な衣服があったよ

◎不用な衣服の布を再利用し、使い続けよう

明らかにした布の特長を生かして、生活に役立つ物を選んで作ろう



3次 布を再利用しよう

◎布を生かした生活に役立つ物を自分の手で作ろう

衣服の形を利用して作ったら簡単にうまくできた。



3. 授業の実際

(1) 衣服は気候や活動に合わせて作られている

学習のスタートで、いろいろな国の民族衣装を見たり、着たり、触ったりして、その衣服を着ている人々の生活を想像してみた。子どもたちは、布の厚さと気温をつないだり、形と動きやすさをつないだりして、衣服には気候や活動に合わせて形や色、布の工夫があることを見出してきた。

隼人さんは一枚一枚を丁寧に触りながら、布の厚さや手触りに違いがあることに目を向けていた。

「衣服を作っている布は、全部同じだと思っていたのに、一枚一枚、薄かったり厚かったりして違っていた。」という感想を書いた。

そこで、自分たちが着ている衣服と活動や気候を結びつけて生活を振り返る活動を組織した。隼人さんは体操着やパジャマ、スキーウェアを着用していることを話し、自分も季節や活動に合わせて衣服を変えていることをとらえてきた。そして、それぞれの衣服にどのような布が使われているのか、詳しく知りたいと意欲を高めてきた。

(2) 布は大切な資源を使っていた

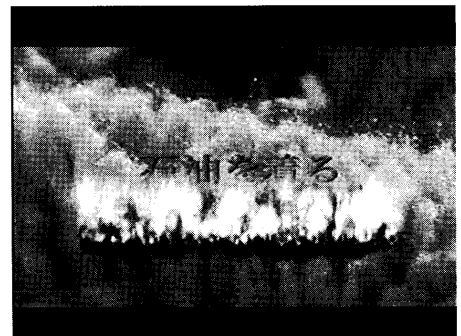
布の厚さや肌触りが違うのは、生産方法や原材料が異なるためであることを明らかにする観察の場の設定や資料提示をした。

まず、織ってある布と編んである布を観察した。子どもたちは布地を引っ張ったり、切ったりして作り方の違いによる特徴をそれぞれ見出してきた。特に、編んだ布は伸び縮みするという特徴を見出した子どもたちは、毎日着ている体操着に編んだ布が使われていることを見出し、激しい運動をする活動に合わせて用いられていることとつなげてきた。

そして、綿や麻、絹や毛など植物や動物の繊維を原料にした天然繊維の布と、石油などを原料にした化学繊維の布があることを示した。隼人さんは、「布が石油でできているとは思っていなかったので驚いた。」と記した。さらに、日本では衣服の再利用がうまくいっていないことも明らかになった。これまで、他の教科、領域など様々な学習を通して、限りある資源の無駄遣いをやめたいと思っていた子どもたちは「限りある資源を大切に使うために、何とか衣服の布を生活に生かし、使い続けたい。」と願いを持ってきた。布に限りある資源が大量に使われていることを知り、布を資源ととらえてきた子どもたちである。



インドのサリーに触れる



提示した資料映像の1シーン



映像に見入る子どもたち

(3) 布には違いや特長がある

自分たちの生活では、衣服の使い方が無駄になっていないかどうか、振り返った。家庭には、着られなくなった衣服がたくさんあること、家族がもったいないと捨てられずに保管していることが分かった。子どもたちは、家にある不用な衣服の布を使い続ける方法を見出そうとして、衣服を持ち寄った。たくさんの不用な衣服が集まり、子どもたちは自分たちの手で何とかして布を使い続けようという意欲をさらに高めてきた。

限りある資源を大切に使うためにも、この衣服の布を材料にして、自分たちの生活に役立つ別の何かを作れないかと考えてきた。子どもたちは、布が衣服として生活を支えていたことから「布の特長を生かした使い道のある物を作ることが大切だ」と見通しを持ってきた。家庭生活を支える人・もの・ことを多様に見出す力を働かせている姿である。そして、それぞれの不用な衣服の布には、どんな特長があるのかということに目を向けてきた。



小さくなったスキーウェアを持ってきた隼人さん

寒いときに着ていたら、暖かった。



保温性を実験で確かめたぞ。



保温性を実験で確かめる

子どもたちは衣服を触ったり、自分が着ていたときの様子を思い起こしたりして布の特長を見出そうとした。隼人さんは「スキーウェアは寒いときに着る服だから、体を暖かく保つことができる布が使われているのではないだろうか。」と衣服を着ていたときの状況を振り返り、布の特長を見出してきた。そこで、本当に保温性のある布なのかどうかを確かめる実験の場を設定した。ほかにも、布の特長を活動の様子から丈夫さと考えた子どもや、汗をかいたり夏に着ていたことから吸水性に優れていると考えた子どもがいた。それぞれ、その特長が確かなのかどうか調べる実験に取り組んだ。

(4) 特長を生かして生活に役立つ物を作ろう

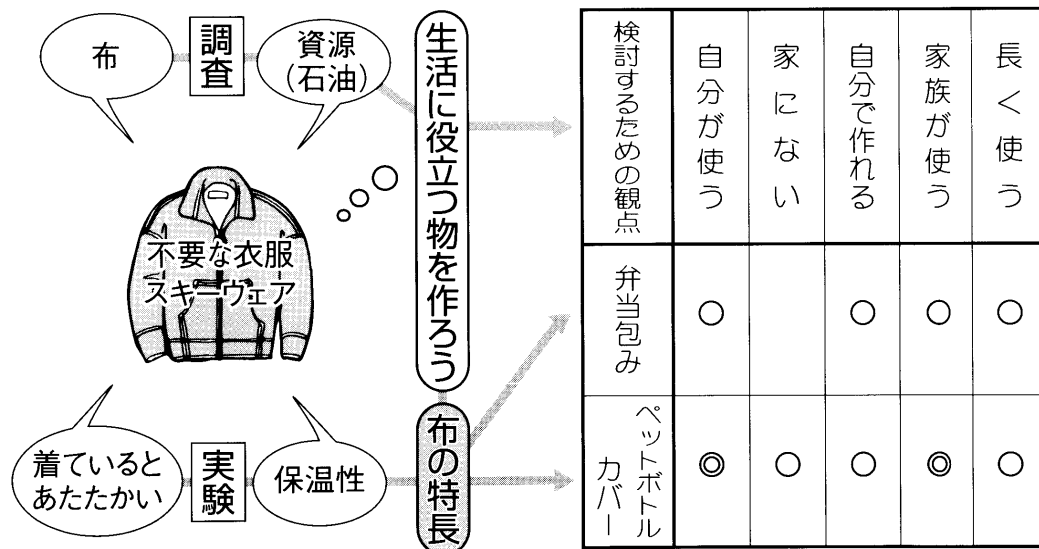
実験によって布の保温性を確かめた隼人さんは、その特長を生かして生活に役立つ物を製作するには、何を作ればいいのかと考えてきた。これから自分が製作する物がどのように生活を支えていくのか、家庭生活を支える人・物・ことを多様に見出す力を再び働かせている姿である。そこで、身の回りにあるたくさんの布製品の実物や資料を提示した。



お弁当包みを観察する

温度を保つお弁当包みと
ペットボトルカバーかな

布製品を見たり触ったりした隼人さんは、「保温性」を生かせる物として「弁当包み」と「ペットボトルカバー」を選んだ。しかし、布の特長を生かすだけでは決められず、限りある資源を大切に使うためにも作るものが生活でどのように役立つのかを検討する活動を組織した。



プリントに記入しながら検討する

ペットボトルカバーの方が
役立ちそうだ。

使い道のある物を作ることが大切との思いに合わせ、検討の観点を設けた。布や自分と家族の家庭生活を多面的にとらえ、分析的に思考する力を働かせながら、隼人さんは2つを比べた。

そして、総合的に見てペットボトルカバーの方がより布を役立てた使い方になりそうだと選び、製作するものを決めた。

(5) 作った物がこれからの生活に役立っていくよ

作る物を決め、製作に向かう子どもたち。隼人さんは仲間の工夫から衣服の形を生かすと製作しやすいことに気づき、ペットボトルカバーは袖の形を生かすと直線縫いだけで作れそうだという見通しを持ってきた。衣服の形を製作に生かし計画を立てたのである。

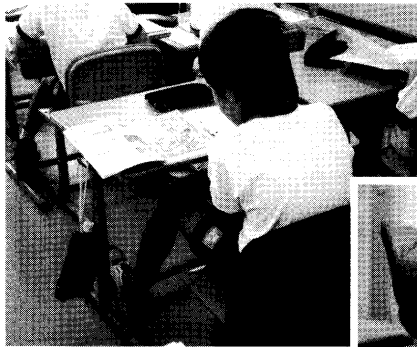
隼人さんは製作中も、実際に使う場面に合わせて付属品や縫い方に目を向け、ひもを付けて持ち運びできるようにすると、より便利になりそうだと工夫を加えてきた。

マラソン大会に向かう日、隼人さんの机には、ペットボトルカバーが下がっていた。

布に資源としての価値を見出した隼人さん。限りある資源を大切に使うために、布を再利用して生活に生かすという新たな概念や価値観を形成し、よりよい生活を自ら創り出した姿である。



底部分を丁寧に縫う隼人さん



Ⅲ 成果と課題

- 布はどのようにして生活を支えているのか、観察や実験、実習を通して、感性が働き、多様にとらえられていった。生活を振り返ることによってとらえられた衣服の材料としての布と、石油から作られている布のつながりが、自分と生活環境との調和を考えるきっかけになった。このことが布を資源としてとらえる新たな概念を形成していった。

今後も、このような教材の開発をしていきたい。

- 事象を多面的に検討し、分析的に見たり総合的に判断したりする科学的なものの見方・考え方を働かせるための活動の組織が難しかった。表(表1)にしたり、数値にしたりして子どもにとって自覚化されやすく、必要な観点から多面的に検討し適切に判断する工夫が必要である。

生活環境との調和を考え、自分や家族の嗜好に偏らない選択・意志決定ができる支援をしていきたい。

<参考文献・資料>

日本家庭科教育学会編著 1997「家庭科の21世紀プラン」家政教育社
 中間美砂子編著 2001「小学校家庭科指導の研究」建帛社
 片岡 徳雄 1998「心を育て感性を生かす」黎明書房
 宇沢弘文 2000「社会的共通資本」岩波書店
 乗本秀樹 2002「家庭科に学ぶ生活論と教育論」家政教育社
 素敵な宇宙船 地球号「タンスの奥に未来が見える!? ~検証 私たちは何を着てきたか~」TV asahi

※ 目的
 ○ 不月にな、た服をリサイクルして何を作るかを学ぶ。

不月にならぬ
 Tシャツ

目的やきょう
 プラスチック 吸水性 洗濯しがい 安い

作るうとけり
 洗濯しがい 吸水性 洗濯しがい 安い

役立ち	○	①	②	○
必要度	○	②	③	○
家族や 使用	○	②	③	○
作れるか	○	②	③	○
まじ つがえる	②	③	④	⑤
オリジナル	○	?	②	⑤

表 1